

タッチパネルで簡単チェック！ 物忘れ相談プログラムを導入

早期発見で適切な治療を

認知症は、65歳以上の約10人に1人が罹患しているといわれる病気です。しかし、物忘れなどの初期症状は「年だから仕方がない」と見過ごされがちで、早期発見ができていないのが現状です。

そこで、自分の「物忘れ」をチェックすることで、適切な診断・治療を受けるきっかけとしていただけるよう、「物忘れ相談プログラム」を導入しました。

地区にもお貸しします

機器は、ラポートやしろ、滝野・東条庁舎の地域包括支援センターに設置しています。また、「認知症ケアなんでも相談（第2・4火曜日13時～16時）」などの際に活用していきます。

問い合わせ

地域包括支援センター

(ラポートやしろ)

☎43・0431

役立つ情報満載!! 認知症地域資源マップ

認知症の人を介護しているご家族などに活用いただくため、認知症に関する知識や地域資源を収集・整理した「認知症地域資源マップ」を作成しました。

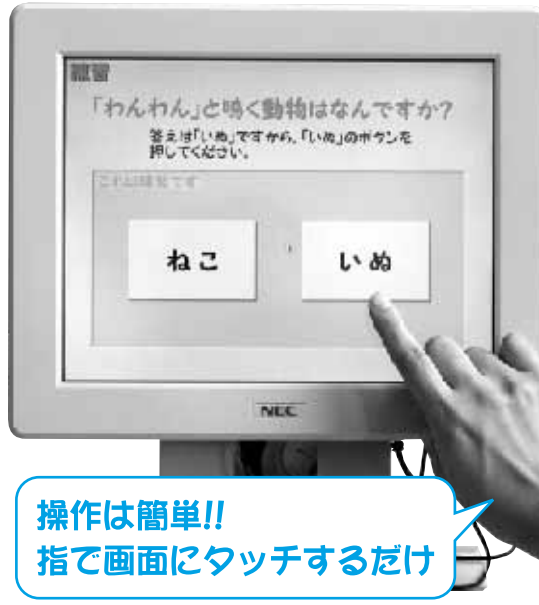
認知症に関する基礎知識のほか、相談窓口や医療機関、介護保険サービス事業者、障害福祉サービス事業者、認知症サポーターのいる店舗、交流の場など、日常生活に欠かせないスポットを地図付きで紹介しています。

【配布場所】

ラポートやしろ、各庁舎窓口センター、市内の居宅介護支援事業所
市ホームページでもご覧いただけます。



問い合わせ 地域包括支援センター
(ラポートやしろ) ☎43-0431



操作は簡単!!
指で画面にタッチするだけ

アルツハイマー型認知症をみつけるための5つの質問が、対話方式で出題されます。所要時間は約5分です。

認知症が始まっている可能性が疑われる場合は、「早めに医師に相談してみましょう」というメッセージがプリントアウトされます。(診断用の医療機器ではありません)

かとう手作り文庫第4集

「いま伝えたいこと」 作品を募集します

応募資格

住所や年齢に制限はありません。

お一人につき1点限りとなります。

原稿内容

【題名】本文にふさわしい題名を付けてください。

【字数】450字～500字

応募期限 9月9日(金)

応募方法

応募用紙または任意の様式に、氏名、住所、電話番号を記入のうえ、持参、郵送、FAX、電子メールで提出してください。

応募用紙は、各庁舎窓口センター、市立図書館、市立公民館にあります。

提出先
企画政策課(社庁舎)、各庁舎窓口センター、市立図書館

注意事項

原稿は、返却いたしません。
作品に関する一切の権利は、市が有します。

誹謗中傷などの内容がある作品は、掲載いたしません。

文庫には、応募者の氏名と住所(大字まで)を掲載します。

ペンネーム等をご希望の場合は、応募時にその旨とペンネーム等を明記してください。

応募・問い合わせ

〒673 1493 加東市社50番地

加東市企画部企画政策課

☎43・0388 FAX 42・5633

電子メール kikaku@city.kato.lg.jp